令和８年度

伊勢市わがまち写真コンクール

入賞作品集

令和8年度「伊勢市わがまち写真コンクール」入賞作品

【最優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
榊原　明子	川の駅　二軒茶屋	川の駅　二軒茶屋	―	―

【優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
角谷　哲生	早朝のおはらい町	おはらい町	―	―
中森　さや	川曳きに魅了される	五十鈴川	―	―
須川　功一朗	日の入り	村松漁港	皇學館中学校	3

【入　選】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
東出　幸子	海老すくい	河崎商人館	―	―
染井　啓利	道路から見える山	津村	―	―
東岡　晴海	懐かしの商店街	明倫商店街	宇治山田高校	2
原口　ゆう子	北御門へ	北御門	―	―
中内　美友	引き上げ	内宮　宇治橋	宇治山田高校	1
中北　幸宏	春の宮川堤	宮川堤公園	―	―
板谷　一行	春を駆ける童たち	市内	―	―
松井　春陽	空と木々、朱映える極楽門	朝熊町　極楽門	皇學館中学校	3
野村　光希	伊勢市駅遠望	伊勢市一之木	―	―
林　優妃	勢田川夕暮れ	伊勢市黒瀬町	―	―

〈総 評〉

まずは皆様、当コンクールへのご応募ありがとうございます。応募数も非常に多く、また興味深い作品も多くあり、選定には時間を要しました。

現代ではスマートフォン等が普及するなど、誰でも手軽に写真が撮れる時代となっていますが、では皆様、どういうタイミングでそのカメラ機能を使用したいと思いますか？おそらく何かを記録したい、そしてその先には(自分自身を含む)誰かにそれを見せたい、ということがほとんどなのではないでしょうか。

写真における「何を伝えたいのか」という本質は、文字や立体造形などと並ぶ、一つの確立された情報伝達の手段であると考えられます。ファインダーや画面を覗き込んだ際に眼に写る情報に対し、何が必要で何が不要なのか、そういった判断で瞬時に得られた情報がわかりやすく伝わる写真が、今回のコンクールでは多く入選しています。

【選考委員】写真集団まがたま　中北　喜亮

【最優秀賞】



川の駅　二軒茶屋

（撮影場所）　川の駅　二軒茶屋	榊原　明子

【コメント】
　川の駅で子供木遣りの練習中。夕焼けの空の色に染まる勢田川があまりにも美しかったので。

【選評】
　川の堤防で町の人々が采を持っている光景。仕事や学校も終わった夕方の時間帯に集まって木遣の練習をしているというのが伝わってきます。御木曳の年だからこそ見られる光景ですね。時勢も含めてこの写真こそが伊勢の今を伝えるに相応しいと思い、最優秀賞に選定しました。

【優秀賞】



早朝のおはらい町

（撮影場所）　おはらい町	角谷　哲生

【コメント】
日中は沢山の観光客ですが早朝ですと参拝する方も少なくて静かです。

【選評】
町並みの奥行きや後ろに見える神路山、そして空の広さまでがぎゅっと凝縮された美しさが目に留まりました。人の少ない時間帯を撮影されたことで町並みがよりわかりやすく捉えられており、モノクロであることが手伝ってノスタルジックな雰囲気となっています。全体的にバランスの取れた写真です。

【優秀賞】



川曳きに魅了される

（撮影場所） 五十鈴川	中森　さや

【コメント】
　やっぱり、伊勢と言ったら式年遷宮！御木曳ですよね。伊勢の子はみんなエンヤーが口癖です。

【選評】
　伊勢の人ならわかる光景と言うのでしょうか。真夏の御木曳行事を橋の袂の日陰から見ている子どもたち。この景色を見られるのも 20 年に 1 サイクルですから、未来を託される子どもたちの眼にも焼きつけておいてほしい光景、限定的な瞬間をしっかりと切り取っている良い写真であると考えられます。

【優秀賞】



日の入り

（撮影場所） 村松漁港	須川　功一朗

【コメント】
父と弟と釣りをしに行った時にふと見た景色がとてもきれいだったので撮りました。

【選評】
沖からでなければ見られない景色なのではないかと思いますが、この夕陽とその光に映し出される白い雲に目が行きました。とにかく美しいと思いました。伊勢市内の港湾付近でこのような光景が見られるというのも当コンクールの趣旨にも適う素晴らしい発見だったのではないでしょうか。

【入選】



海老すくい

（撮影場所）
河崎商人館

東出　幸子

【コメント】
獲物を待つ子供達。昔も今も変わらない様子が微笑ましい。



道路から見える山

（撮影場所）
津村

染井　啓利

【コメント】
この道が好きで、田んぼに挟まれた道を走ると正面に山が見える景色が好きです。

【入選】



懐かしの商店街

（撮影場所）
明倫商店街

東岡　晴海

【コメント】
　この写真は、今年の３月に明倫商店街で撮影したものです。ノスタルジックな昭和の雰囲気をそのまま残したようなこの商店街に魅力を感じ、思わず撮影した一枚です。現在は消失してしまいましたがあの頃の明倫商店街は確かに僕の写真の中で生きています。



北御門へ

（撮影場所）
北御門

原口　ゆう子

【コメント】
　気持ちのいい青空の下、力を合わせて勢いよく曳いている姿を映しました。

【入選】



引き上げ

（撮影場所）
内宮　宇治橋

中内　美友

【コメント】
　お木曳の終了間近で「もう少し！頑張れ！」と思いながらとりました。綱を引こうと力を籠める様子・それを見守る人々・遠くからやってくる次の団体をうまく収めることができたと思います。



春の宮川堤

（撮影場所）
宮川堤公園

中北　幸宏

【コメント】
　満開の桜を楽しむ人々、穏やかな春の風情を捉えてみました。今も昔も宮川堤は桜の名所です。

【入選】



春を駆ける童たち

（撮影場所）
市内

板谷　一行

【コメント】
宮崎文庫跡の桜の下で、元気に飛び廻っている童たちに春を感じて



空と木々、朱映える極楽門

（撮影場所）
朝熊町　極楽門

松井　春陽

【コメント】
青空や木々が広がる中で、そこに佇む迫力のある極楽門の朱色が美しく映えていたから。

【入選】

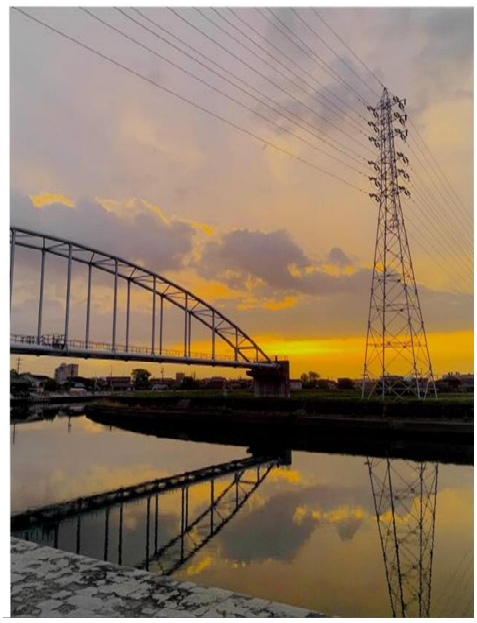


伊勢市駅遠望

（撮影場所）
伊勢市一之木

野村　光希

【コメント】
向こうに小さく見える伊勢市駅を歩道橋の上から撮影しました。



勢田川夕暮れ

（撮影場所）
伊勢市黒瀬町

林　優妃

【コメント】
高校時代に学校からの帰り道でよく通った勢田川沿いの綺麗な夕景です。